

発行者

岩瀬日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部

三宅 真彩

胸に 言葉の激励

「先輩たちなら絶対大丈夫」

大学入学共通テスト激励会

12月14日、本校多目的ホールにおいて、国立・特進コースによる「大学入学共通テスト激励会」が行われた。在校生や吉田校長をはじめ、先生方からの激励のメッセージが送られた。

コロナ休校から始まった3年生。吉田校長は「手探りの中でここまで着実に進



決意表明する塚本さん



んできた。自分ができることを地道にやっ
ていく。そして昨日
よりもちよつと背伸
びをしていく。ゴー
ルは立ち止まること
なく、走り抜けてほ
しい」とエール。
小泉副校長は、サッ
カーワールドカップ
の三苦選手のプレー
が強豪スペインを破
る得点に結びついた
ことから「1ミリも
諦めない」というメッ
セージを送った。
齊藤教頭は剣道に
例え「自分を出し切
ることができれば勝
つべき相手に勝つこ
とができる。最大の
パフォーマンスを発
揮して」と激励。
箱根教頭は「自分
を良い方向に持って
いくためにはリラッ
クスして楽しいとい

う環境を創り出すこ
とが大切」である
として健康管理の重
要性を伝えた。
4人の先生のメッ
セージが、どれも心
に響く言葉ばかりが
詰まっていた。
続いて2年の高濱
天明さんが在校生代
表として応援メッセ
ージ「これまで様々
なことに挑戦しやり
切ってきた先輩たち
の姿を見て尊敬して
いる。先輩たちなら
絶対大丈夫です」と、後輩



だるまの目入れをする谷畑さん

が先輩を応援する気
持ちは見事に言語化
していた。

3年生を代表して
塚本紗彩さんによる
決意表明。4人の先
生からの激励のメッ
セージに感謝すると
ともに「後輩や先生
方が背中を押してく
れた。自分ができ
ることをしつかりや
る」と、受験を前に
した3年生の、最後
まで戦い抜くという
強い思いが溢れて
いた。

編集後記

そして谷畑妃音さんによるダルマの目入れが行われた。時間をかけて念入りに目を入れることで、自身の希望する進路を実現したいという意志が伝わってきた。

激励会は1時間にも満たないものだったが、その間には「頑張つて」と「ありがとう」が幾度も飛び交い、温かさに溢れていた。私は、受験直前に自分の実力に対する不安を感じ、心の余裕を失ってしまったことがあった。そんなとき、友人や家族の応援が私を励まし、困難から逃げずに立ち向かう勇気をくれた。今の3年生も、少なからず心配な気持ちを抱えながらも、必死に問題集に取り組んでいることだろう。激励会での温かい言葉の数々を励みとし、最後まで1ミリも諦めず共通テストに臨んでほしい。(三宅)